

# 平成 30 年度 事業報告



特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺  
ショートステイ オレンジタウン笠寺  
オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター

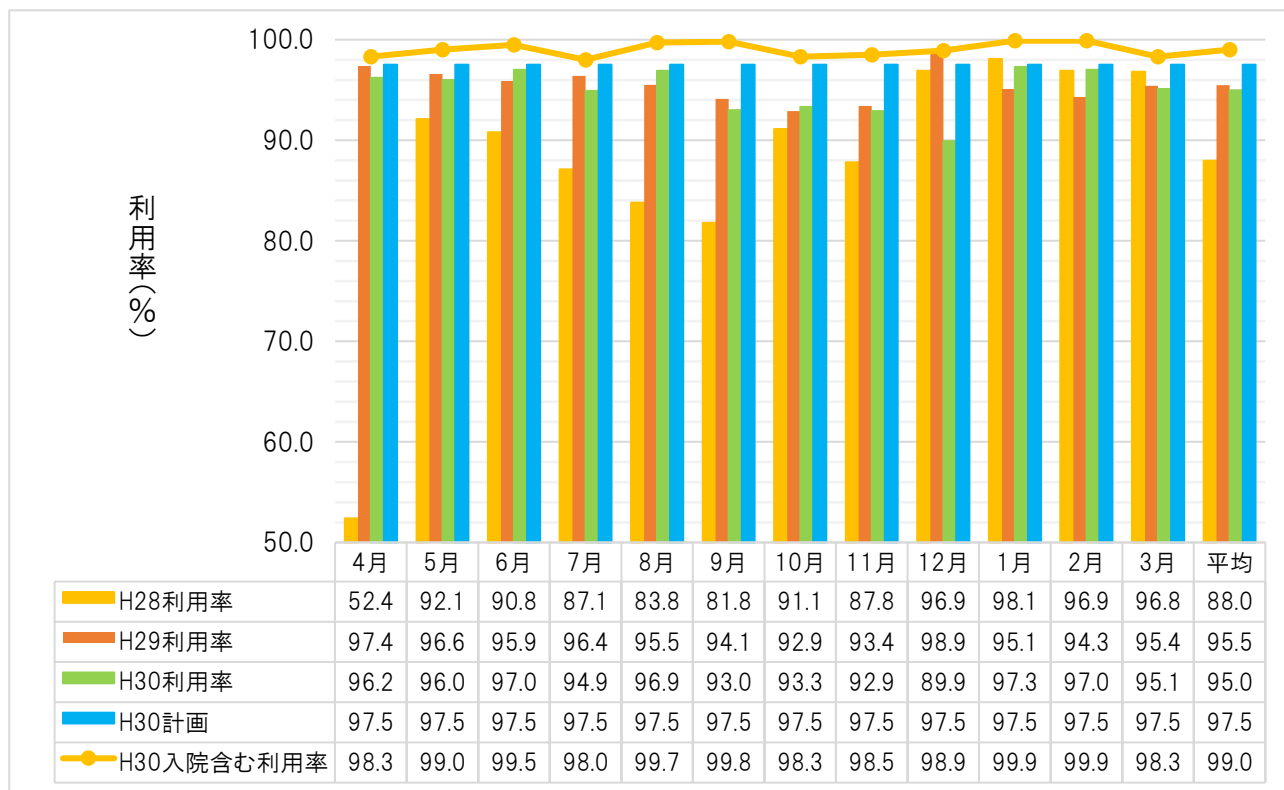
## 1. 平成30年度 事業経過

月	日	出来事
4月	1日	花見（ショートステイ）
	2日	入職式
	3～5日	花見（特養）
	15日	誕生日食
	17日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
5月	7～31日	介護実習Ⅰ-2受入 あいち福祉医療専門学校介護福祉学科（4名）
	10日	外出レクリエーション（特養 鶴舞公園 富部神社）
	15日	誕生日食
	15日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
	19日	地域ふれあいコンサート（本城中学校ジャズ・オーケストラ部演奏会）
	20日	監事監査
	23日	消防訓練（夜間想定）
	31日	第1回理事会
6月	6日	「名古屋市老人ホーム交歓輪投げ大会」出場 団体優勝
	15日	誕生日食
	19日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
	20日	定時評議員会
	25日	郷土料理の日「飛騨高山」
7月	7日	行事食「七夕」
	16日	誕生日食
	17日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
8月	1日	行事食「土用の丑の日」
	10～18日	介護実習Ⅰ-1受入 同朋大学社会福祉学部介護福祉コース（2名）
	15日	誕生日食
	18日	納涼会「夏の夕べ」
	21日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
	31日	機械式パーキング築造工事入札
9月	15日	誕生日食
	17日	行事食「敬老の日」
	2～7日	食事レクリエーション「流しそうめん」
10月	13、14日	七所神社秋の例大祭（立脇町内会 こども御輿来所）
	15日	誕生日食
	16日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
	23日	消防訓練（総合訓練）
	30日	郷土料理の日「三重」

月	日	出来事
11月	9日	特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺Ⅱ 厨房設備機器一式メンテナンス付リース業者入札
	11日	オレンジタウン笠寺「第2回 秋まつり」
	11日～23日	介護実習Ⅰ-1受入 あいち福祉医療専門学校介護福祉学科（4名）
	15日	誕生日食
	22日	おやつレクリエーション「やきいもやさん」
12月	4日	第2回理事会
	10日	監事監査
	13日	オレンジタウン笠寺Ⅱ備品関係入札
	15日	誕生日食
	17日	第3回理事会
	17～25日	おやつバイキング会
	18日	クリスマス会
	20～22日	ゆず湯
	22日	行事食「冬至」
	25日	行事食「クリスマス」
	31日	行事食「大晦日」
1月	4日	オレンジタウン笠寺Ⅱ入居受付開始
	15日	誕生日食
	15日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
	17～18日	名古屋市立本城中学校職業体験受入（4名）
2月	3日	節分会
	3日	行事食「節分」
	12日	喫茶開催「オレンジカフェ笠寺」
	15日	誕生日食
	27日	オレンジタウン笠寺新年安全祈願祭（七所神社） オレンジタウン笠寺Ⅱ竣工式（七所神社）
	28日	オレンジタウン笠寺Ⅱ竣工引渡し
3月	3日	行事食「ひなまつり」
	15日	誕生日食
	22～23日	オレンジタウン笠寺Ⅱ地域内覧会
	25日	第4回理事会

## 2. 運営状況

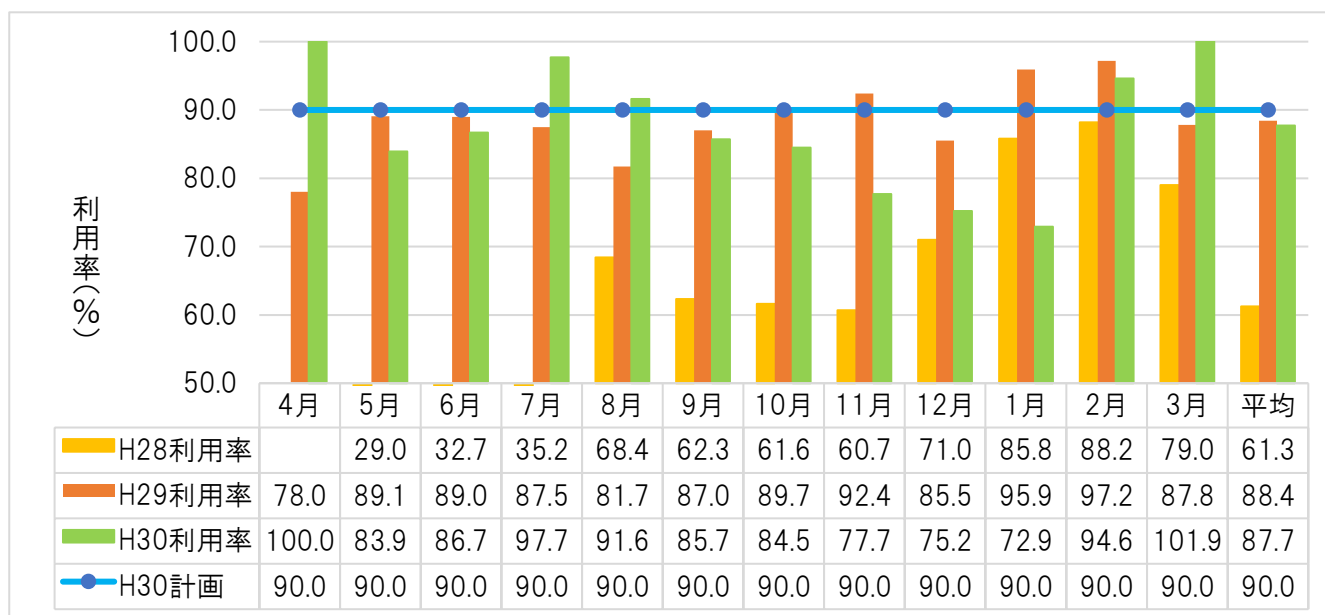
### ①特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺 介護老人福祉施設（ユニット型 定員 80 名）



- ・入居率の推移は 99.0%であった。一方で実利用率は計画を下回る 95.0%に留まってしまった。要因は入居者の身体状況悪化や精査を目的とした入院である。
- ・入院者のベッドをショートステイの空床利用に活用し、併せて緊急対応を積極的に行い、短期入所受入加算を算定するとともに、社会資源の有効活用に注力した。
- ・開設から 3 年目となり、入居者の平均年齢は 84.5 歳、平均入居期間は 622 日、平均介護度は 4.0。当年度より看取りケアを開始した。
- ・平成 30 年 5 月より看護職員の 24 時間配置を開始。看護職員が常駐することで、医療的ケアの必要な方も柔軟に対応できるようになり、介護職員が医療行為を行うことなく、入居者やご家族に安心したケアが提供できる体制が整った。また夜勤職員配置加算（Ⅳ）を算定し、年間約 90 万円の増収となったが、一方で加配した職員の人件費が経営面を圧迫している。
- ・日常生活継続支援加算の算定が 1 年を通して継続できた。その結果約 13 百万円／年の増収となった。
- ・平成 30 年度の事業活動資金収支差額は 56,707 千円（対収入費 14.0%）となった。  
しかしオレンジタウン笠寺Ⅱ開設に向け、職員採用を進めたことで、その人件費が負担となり、資金収支差額は△24,408 千円となった。

## ②ショートステイオレンジタウン笠寺

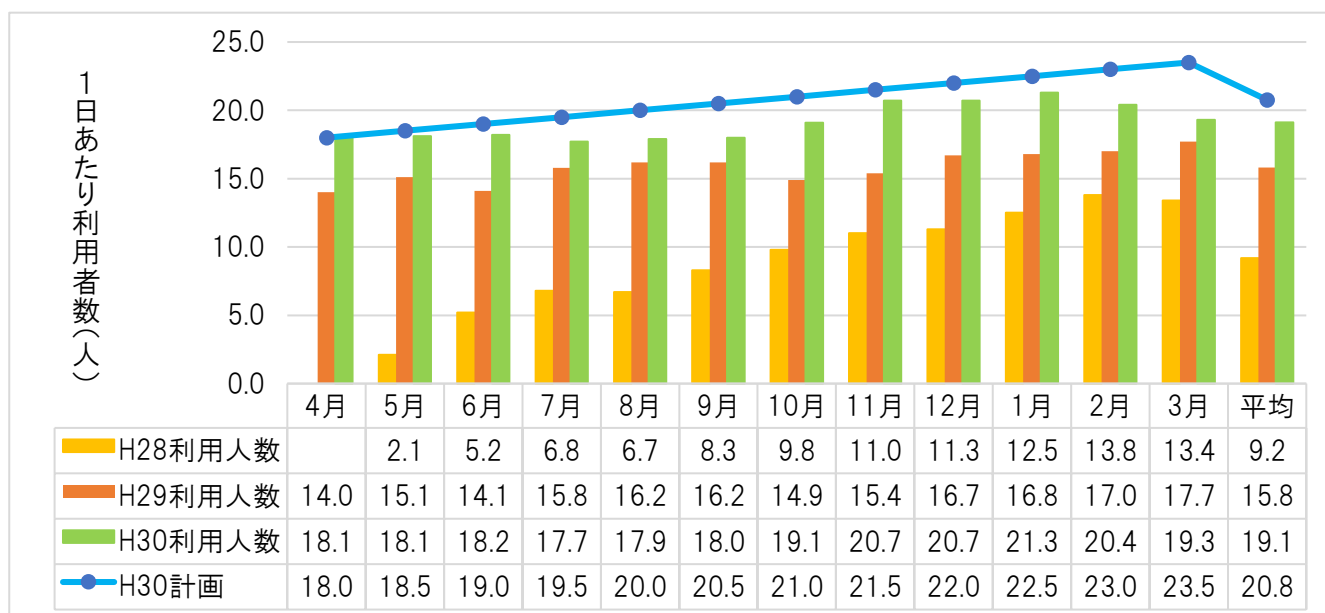
短期入所生活介護（ユニット型 定員 10 名 介護予防短期入所生活介護含む）



- ・当年度は利用率が安定せず、結果として年間平均で 87.7%となり、計画は未達となった。
- ・平成 30 年度の事業活動資金収支差額は△6,007 千円（対収入費△13.0%）となった。  
定員が 10 名と小規模で、経営効率が低いことから、赤字決算は想定内ではあるが、計画を下回る結果となってしまった。

## ③オレンジタウン笠寺デイサービスセンター

通所介護（定員 30 名 予防専門型通所サービスを含む）



- ・1 日あたりの平均利用者数を 20.8 人と計画したが、年間平均で 19.1 名であった。一方、登録者数は年間平均で通所介護 46 名、予防専門型 12 名で、うち新規開始は 30 名、利用中止は 22 名であった。施設入所を機に中止となるケースが多い。
- ・平成 30 年度の事業活動資金収支差額は 9,816 千円（対収入費 16.9%）となった。

#### ④特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺Ⅱ（平成31年4月1日開設）

##### 介護老人福祉施設（ユニット型 定員80名）

- 平成31年整備に向け、設計、建設工事、備品調達、職員募集など足かけ4年にわたり準備を進め、平成31年1月4日より入居者募集受付を開始し、平成31年4月1日に開設することができた。

### 3. 人材の確保ならびに定着にかかる研修等の状況

- 当年度は、オレンジタウン笠寺Ⅱの開設に向け、新卒採用のため、全国の高等学校、専門学校、大学への訪問や、新卒・既卒採用を問わず、就職フェアへの出展、広告媒体、紹介、派遣を最大限に活用し取り組んだ。
- EPA外国人介護福祉士、同候補者、その他在留資格保有者を積極的に受け入れている。  
今後も技能実習生など外国人介護スタッフの増加が想定され、それを見据えた人材育成が急務である。
- 平成30年5月より看護職員の24時間配置を開始したことで、ユニット型施設であっても、介護職員が夜勤中に休憩が取れる体制が整い、職場環境の優位さが人材確保の一助となっている。
- 優れた人材を育成するため、施設内研修の実施はもとより、施設外研修にも積極的に参加させ、正しい知識、技術の習得とともに、モチベーション向上にも取り組んでいる。
- 法定研修では、講義内容をビデオ撮影し、ビデオ学習を取り入れることで、変則勤務であっても全員が学べるよう工夫している。
- 研修受講後は参加報告書を提出させ、学びの振り返りの機会としている。
- 当年度はユニットケア施設管理者研修を3名が修了し、ユニットリーダー研修を3名が修了した。また介護キャリア段位制度評価者（アセッサー）を3名が取得した。

#### ① 平成30年度施設内研修

研修日	時間	研修名・内容	人数
4月3～4日	8時間	新入職者研修	2名
4月9.10日.13日	1時間	平成30年度事業計画説明会	41名
5月11日	1時間	現任職員研修「薬について」	3名
6月18.21日	1時間	排泄ケア研修(ユニチャーム株式会社)	20名
6～8月	1時間	虐待・身体拘束廃止委員会①「権利擁護と法令遵守」	全職員
9月4.7日	1時間	事故防止対策委員会①「事故報告書を分析して」	全職員
9月7.11.13.14日	1時間	感染対策委員会①「疥癬について」	全職員
9月20日	1時間	褥瘡対策委員会①「褥瘡予防から早期発見にむけて」	全職員
10月23日	0.5時間	職場のパワーハラスメントを考える	11名
12月6.12日	1時間	感染対策委員会② 「手洗いの重要性について～白癬・肝炎の基礎知識～」	全職員
1月31日	1時間	口腔ケア研修「義歯の脱着と手入れ」（亀井智子先生）	24名
2月22.27日	1時間	褥瘡対策委員会②「褥瘡予防のための明日から出来るポジショニング」	全職員
3月13.15日	1時間	事故防止対策委員会②「KYT～危険予知トレーニング」	全職員
3月20.22日	1時間	虐待・身体拘束廃止委員会②「虐待につながる不適切ケア」	全職員

## ② 平成 30 年度施設外研修

研修日	時間	研修名・主催	人数
5月～7月	7日間	ユニットリーダー研修(ユニットケア推進センター)	1名
6月1日	1時間	ノーリフティング導入に学ぶ(全国ノーリフティング推進協会)	3名
6月20日	90分	介護事業者における権利擁護と法令順守(名介研)	8名
6月29日 7月6.13.20日	4日間	介護福祉士実習指導者講習会(あいち福祉医療専門学校)	1名
7月4日	4時間	高齢者向けの住まいリスクマネジメント研修(名介研)	3名
7月6日	4時間	看取りケア振り返りプログラム(東京都健康長寿医療センター)	3名
7月12日	1.5時間	高齢者施設に於ける結核感染対策(名介研)	3名
9月18日	3時間	介護従事者のメンタルヘルス研修(管理者向け)	3名
9月27日	7時間	介護プロフェッショナルキャリア段位制度アセッサー講習	2名
10月9.10日	2日間	食に携わる職員のための研修(ユニットケア推進センター)	1名
10月12日	3時間	BCP導入研修(名介研)	2名
10月15日	6時間	24Hシート研修(ユニットケア推進センター)	4名
10月19日	2時間	「認知症になっても住みやすい南区って！？～当事者の方と共に考えよう～」(南区介護事業所連絡会)	4名
10月22日	6.5時間	BCP導入研修(名介研)	2名
11月25日	9時間	技能実習指導員講習(公益社団法人日本介護福祉士会)	4名
12月4日	9時間	技能実習管理者研修	2名
12月6日	6時間	介護技術研修(体位変換・移乗)(名古屋市社協)	1名
12月5～7日	3日間	ユニットケア管理者研修(日本ユニットケア推進センター)	1名
12月12.13.20日	3日間	スーパービジョン研修(キャリアアップ研修)(名古屋市社協)	1名
12月19日	9時間	技能実習管理者研修	1名
12月21日	6時間	介護記録研修(名古屋市社協)	1名
1月10日	6時間	アンガーマネジメント研修(名古屋市社協)	1名
1月24日	6時間	口腔ケア研修(名古屋市社協)	1名
1月24日	6時間	ターミナル研修(キャリアアップ研修)(名古屋市社協)	2名
1月25日	6時間	医学基礎知識研修(キャリアアップ研修)(名古屋市社協)	2名
1月28日	6時間	多職種連携研修(名古屋市社協)	1名
2月7.8.14日	6時間	スーパービジョン連続研修(名古屋市社協)	1名
2月12日	6時間	ターミナル研修(名古屋市社協)	1名
2月18日	6時間	排泄ケア研修(名古屋市社協)	1名
2月22日	6時間	外国人就労受入研修(キャリアアップ・管理者研修)(名古屋市社協)	1名

### 3. 地域社会との連携、共生に向けた取組み

- ・昨年度より継続して町内会の廃品回収に毎月参加した。
- ・5月19日地域ふれあいコンサートを開催。近隣3町内に回覧板にて案内し、地域の方にも参加いただいた。
- ・11月10日なごや介護の日フェア2018（栄・もちの木広場）にスタッフ4名を派遣。
- ・11月11日当施設秋まつりを近隣町内会に回覧板にて案内し、地域の方にも参加いただいた。
- ・11月18日みずほフェア'18（瑞穂区役所）にスタッフ1名を派遣。
- ・11月27日南区自立支援連絡協議会「避難行動要支援者の防災に関する研修会」にパネラー1名を派遣。
- ・12月3日名古屋市社会福祉協議会市民後見人候補者養成研修ヒアリング実習3名受入。
- ・1月17～18日名古屋市立本城中学校職業体験4名受入。

### 4. まとめ

当年度は事業開始より3年目を迎え、施設運営は概ね順調に推移できた。一方で平成29年12月13日に着工したオレンジタウン笠寺Ⅱの開設準備に、経営資源の多くが投入された1年であった。

結果として、オレンジタウン笠寺拠点の事業活動資金収支差額は60,516千円となり、同拠点の資金収支差額は△34,407千円となった。また当法人の当期資金収支差額は103,797千円となった。

次年度以降も、社会福祉法人の目的を鑑み、善常会として地域から信頼され、地域に貢献できるよう、事業計画に基づき、着実に歩みを重ねていく所存である。